

令和3年(2021年)1月 花き部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2021年1月 数 量	2021年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	キク	愛知県・長崎県が主要産地です。入荷量は天候不順の影響もあり、かなり減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	596,397	45	70%	68%
2	バラ	岡山県・愛知県が主要産地です。国内物の出荷、輸入物の入荷が共に少なく、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	74,003	79	68%	75%
3	切花 カーネーション	コロンビア・千葉県が主要産地です。国内物の出荷、輸入物の入荷が共に少なく、入荷量はかなり減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	271,945	41	53%	101%
4	かすみ草	栃木県・和歌山県が主要産地です。天候不良で生育が悪く、入荷量は減少しました。平均単価は安く推移しました。	34,295	74	80%	84%
5	グラジオラス	鹿児島県が主要産地です。輸入物の入荷が減少した影響で、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	2,330	25	51%	58%
6	プリムラ	神奈川県・埼玉県・千葉県が主要産地です。冷え込み等の影響から、入荷量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	17,157	103	79%	106%
7	鉢物					
8						

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上